

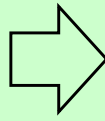
区画拡大と自動操舵トラクターの活用により効率的な営農を実現 ～山田 建一氏〔真狩村〕～

経営体の概要

事業実施前：平成17年

基幹作物：小麦、ばれいしょ、小豆、ゆり根、
だいこん、にんじん、やまのいも

経営面積：25.0ha



事業実施後：令和3年

基幹作物：小麦、ばれいしょ、小豆、ゆり根、
だいこん、にんじん、やまのいも

経営面積：35.8ha

取組の経緯と経営転換のポイント等

本事業により大区画で土壌条件が均一化し、1団地当たり事業前の3haが5～7ha程度となり、同一作物を1団地に集約したほか、併せて自動操舵装置の導入、大型農機具への増強・更新により作業効率が向上した。これら農作業の効率化に伴い、規模拡大を進め、ばれいしょ、小豆、だいこんの高収益作物の作付を拡大するとともに、JAようていのクリーン農業やだいこんでのエコファーマーに取り組み、ようていブランドとして販売されるなど、より効率的な営農を実現している。

営農改善のポイント

①省力化

ほ場の大区画化及び傾斜の均一化により、1団地1作物の作付け集約や農業機械の旋回回数の減少等効率的な作業が可能となった。また、自動操舵装置を導入したことでカルチ（畝間除草）の精度向上による除草回数の減少、スプレーヤー防除時の農薬のかけ合わせや散布ムラが解消した。



ゆり根防除
(左ネット：養成球、右露地：販売球)

②栽培技術の確立・向上

大区画化と経営面積の拡大により、高品質で持続可能な作付けを維持するため、輪作体系を「ばれいしょ・小麦・だいこん・にんじん・小豆」で確立し、ばれいしょ栽培では「浴光育芽」に取り組み、出芽促進・生育揃いにより収穫時の規格歩留が向上した。



ばれいしょの収穫

③単収・品質の向上

大区画化、傾斜の均一化、排水改良により、生育が揃い、安定した品質の作物が収穫できるようになった。

特に、だいこん、にんじんでは規格外品が減少して、規格外品を除く単収が3,000kg/10a程度から4,000kg/10a程度に増収した。



だいこん収穫

事業概要

事業種：国営農地再編整備事業

関係市町：北海道虻田郡真狩村

受益面積：1,028ha

事業期間：平成19年度～平成27年度

事業目的：区画整理・農地造成

主要工事：区画整理987ha、農地造成5ha、
道路4.8km

位置図（北海道）



真狩地区

<問い合わせ先>

北海道開発局 農業水産部

農業計画課 計画第1係

電話：011-709-2311

(内線5522)

(令和3年度調査時点)